



拓け！自らの可能性

～社会参加に向けて～

進路だより 第2号

令和7年9月30日発行

だて支援学校キャリア支援部

第13回特別支援学校作業技能大会

7月30日(水)に第13回特別支援学校作業技能大会がビックパレットふくしまで開催されました。会場には福島県内にある特別支援学校20校の生徒や教員、保護者だけでなく企業の方など1,000人近い人が来場し、日常では味わうことができない緊張感の中、日頃の学習の成果を競い合いました。本校からはビルクリーニング部門、喫茶接客サービス部門、PCデータ入力部門、作業製品品評部門、製品プレゼンテーションに11名の生徒が出場し、日頃の努力の成果を存分に発揮しました。

高等部3年 S・K

私は、作業技能大会のテーブルクロス部門に出場しました。夏休み前から練習を始めましたが、初めは、大きな声を出すのが難しく、また、規定の時間内に終わることができませんでした。夏休み中、大会まで一生懸命練習すると、大きな声が出るようになったり、時間内に終わることができるようになったりと、少しずつ自信がついてきました。本番は、会場が大きく、人がたくさん見ている中でとても緊張しました。自分ではうまくいかなかったという気持ちが強かったですが、先生から、「時間内にできていたし、動きもよかったよ。」と声を掛けてもらいほっとしました。2学期学校に来て、1級をとれたと聞いたときには、うれしかったです。これからも、チャレンジする気持ちを大切に、いろいろなことに挑戦していきたいと思います。

高等部3年 K・H

私は、今回の作業技能大会に出場してうれしく思ったことが2つあります。

1つ目は、去年の大会のリベンジができた、ということです。去年の大会では、最後のところでミスをし、2級となってしまう、大変悔しい思いをしました。今年は練習の成果を発揮し、ミスなく完璧に行うことができ、見事1級を取得することができました。とてもうれしかったです。

2つ目は、練習のときはもちろん、大会当日も、私の周りにはいつも先生方や友達と一緒にいて、励ましてくれたことです。私は、彼らのような仲間がいたからこそ頑張れたのだと改めて思いました。作業技能大会当日、緊張のあまり心臓がバクバクしていました。そのとき、その仲間が、「大丈夫だよ！春香ならできる！」と言ってくれました。その応援を聞いて、がんばらねばならない、という気持ちが一層強くなりました。そして、みなさんの応援のおかげで、去年逃してしまった1級を取得することができました。仲間がいてくれて本当に良かったです。

祝 作業技能大会受賞



＜革工製品部門＞
銀賞「ふせんケース」

＜革工製品部門＞
最優秀品質賞「一期一会ケース」

作業技能大会の様子

高等部2年 Y・Y

7月30日水曜日に、作業技能大会に出場しました。主にプレゼンテーションに参加しました。夏休みに入ってから作業技能大会本番までの間、毎日学校に通い、練習をしました。大変でしたが、毎日頑張って取り組むことで、本番のときに、自分が思ったよりも言葉がスムーズに出たり、あまり緊張もしたりせず、いつも以上のパフォーマンスを発揮することができたと思います。また、革作り体験にも参加し、たくさんの人に教える側の立場を経験しました。少し難しかったですが、最後までやり切ることができました。

最後に、作業技能大会の会場で、昨年度までお世話になった大好きな2人の先生に再会することができ、うれしかったです。また、その先生方に、プレゼンテーションの発表を見てもらうことができてとてもうれしかったです。来年も挑戦したいと思います。



<ビルクリーニング部門>



<喫茶接遇サービス部門>

高等部2年 O・I

私は、7月30日に開催された作業技能大会でPCデータ入力部門に出場しました。私は、夏休みの7月22日から28日までの5日間、必死に練習をしました。初めは入力ミスが多く、入力できた枚数も少なかったのですが、なかなか良い結果を出せず、悔しいと思っていましたが、一生懸命練習を重ねていくと、徐々に正確になり、枚数も多く入力できるようになりました。それと同時に、1級をとれそうという自信が出てきました。5日間の練習はあっという間に終わり、7月30日の本番を迎えて少し緊張していましたが、本番が始まってからは、今まで練習したことを思い出しながら集中して取り組み、最後までやり切ることができました。その結果、私は1級をとることができました。さらに、入力枚数の自己ベストを更新することもできました。1級をとることができ、とてもうれしく、達成感も感じました。また、参加したことにより、自分の自信にも繋がりました。来年もまた出場したいと思います。



<プレゼンテーション>



<PCデータ入力部門>

中学部 作業学習紹介

中学部の作業学習について紹介します。

今年度、新しく縫製班を作り、木材加工班、紙工班、縫製班の3班体制で取り組んでいます。

木材加工班では、やすりがけ、組み立て、塗装などの作業工程の中から活動を選択し、ファイルスタンドなどの製作に取り組んでいます。紙工班では、昨年度に引き続き、牛乳パックを再利用した油とり紙「あぶら ZERO」の製作を行っています。活動内容が分かり、自分から取り組む生徒が増えています。縫製班では、ミシンや手縫いによる布製品の製作に取り組んでいます。道具の扱いに慣れ、エコバッグやバンダナなどの製品も完成してきています。その他、中学部作業学習では、定期的に野菜作りにも取り組み、1学期は、トマト、ナス、ピーマンを植え、販売しました。

2学期は、校内実習や「だてっこみらいフェスティバル」での販売などがあり、みんなで力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。



教員対象福祉施設等事業所見学会

7月29日(火)に、11名で「社会福祉法人けやきの村」と「NPO 法人天使の唄 就労継続支援 A 型事業所 桑の実」を視察してきました。時代の要望や利用者のニーズに合わせて変わっていく福祉事業所の実態に触れることができました。子どもたちの進路に関心を示しながら、よりマッチした進路の選択につながるができるように、私たちもより詳しい最新の情報収集に努めなければいけないと実感しました。



保護者進路研修会

キャリア支援部 江田綾

PTA との連携事業で7月18日(金)本校にて、第1回保護者進路研修会を行いました。

伊達市健康福祉部社会福祉課障がい福祉係から3名の方に講師としてお話をいただきました。

内容は、以下の3点でした。

- ①福祉サービスの種別について
- ②伊達市・伊達郡の福祉サービス事業所について
- ③福祉サービス契約までの流れについて

小中学部、高等部から約20名が参加しました。開校初年度から毎年開催しており、今回で4回目になりましたが、最も多い参加者となりました。

11月5日(水)には第2回保護者進路研修会を予定しています。福祉事業所の方の講話を予定していますので、ぜひこちらも御参加ください。



新規事業所紹介

名 称	サービス種別	住 所	電話番号	活動内容
株式会社 smile farm すまいるふぁーむ	就労継続支援 B 型	川俣町字五百田 20-17	090-1096-1701	いちご栽培・販売、ア ンスリウム生産・販 売等
特定非営利活動法人 ドリーム ひだまり	就労継続支援 A 型 就労継続支援 B 型	川俣町鶴沢字芦ヶ 作21	090-1200-1921	施設外就労 軽作業、授産品作成

10月～12月 今後の予定について

期 日	行事名等	内 容	対象学部
10月3日(金)	進路座談会	高等部現場実習のビデオ視聴と先輩保護者との意見交換	全学部希望保護者
11月5日(水)	現場実習 保護者報告会	後期現場実習のビデオ視聴と今後の流れの説明等	高等部保護者
	第2回保護者 進路研修会	福祉事業所の担当者による講演	全学部希望保護者
後期現場実習以降	進路希望確認	進路に関する最終希望確認	高等部3年
12月10日(水)	高等部3学年 懇談会	進路決定までの流れと個別の移行支援計画作成の説明	高等部3年保護者